

町政 HOT NEWS

広聴

パブリックコメント(意見募集)を行います

邑楽町第六次総合計画後期基本計画の策定

町の最上位計画である「邑楽町第六次総合計画後期基本計画」の策定に向けての原案がまとまりましたので、パブリックコメントを行います。

▼件名 邑楽町第六次総合計画後期基本計画(案)

▼閲覧期間 7月27日①～8月26日②

▼閲覧場所 役場企画課

▼時間 午前8時30分～午後5時15分

※土・日曜日、祝日を除く。

※詳細は町ホームページを参照。

意見の受付

▼対象者(次のいずれかに該当する個人または団体) ①町内在住・在勤②町

内に事務所・事業所がある③その他本件に対して利害関係がある

▼提出方法 所定の用紙に記入し、次のいずれかの方法で提出

①郵送 〒370-0692(住所記入不要)邑楽町役場企画課宛 ②☎89-0139 ③✉plan@swan.town.ora.gunma.jp ④直接持参

▼受付期限 8月26日②

▼その他 提出された意見に対する町の回答は、町ホームページと役場企画課で公表します(提出された意見に対する個別の回答は行いません)

▼問合せ 役場企画課☎47-5009

広聴

パブリックコメント(意見募集)を行います

第2期邑楽町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定

町の人口減少・高齢化対策に特化した計画である「第2期邑楽町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に向けての原案がまとまりましたので、パブリックコメントを行います。

▼件名 第2期邑楽町まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)

▼閲覧期間 7月27日①～8月26日②

▼閲覧場所 役場企画課

▼時間 午前8時30分～午後5時15分

※土・日曜日、祝日を除く。

※詳細は町ホームページを参照。

意見の受付

▼対象者(次のいずれかに該当する個人または団体) ①町内在住・在勤②町

内に事務所・事業所がある③その他本件に対して利害関係がある

▼提出方法 所定の用紙に記入し、次のいずれかの方法で提出

①郵送 〒370-0692(住所記入不要)邑楽町役場企画課宛 ②☎89-0139 ③✉plan@swan.town.ora.gunma.jp ④直接持参

▼受付期限 8月26日②

▼その他 提出された意見に対する町の回答は、町ホームページと役場企画課で公表します(提出された意見に対する個別の回答は行いません)

▼問合せ 役場企画課☎47-5009

式典

米寿と金婚を迎える皆さんを祝福
米寿・金婚記念式典

▼期日 9月20日②

▼会場 中央公民館「邑の森ホール」

▼対象

米寿 昭和7年4月1日から昭和8年3月31日までに生まれた人

金婚 昭和45年1月1日から12月31日までに、婚姻届を役場などに提出した夫婦

▼申込方法 米寿 申し込み不要

※役場健康福祉課から8月中旬に招待

状を送付します。

金婚 申込用紙に必要事項を記入して申し込む

※申込用紙は、広報おうら7月号と併せて配布する他、役場健康福祉課にもあります。

※婚姻日の確認のために戸籍抄本(写し可)が必要となります。

▼申込・問合せ 役場健康福祉課☎47-5024

募集

未来のまちづくりにあなただの力を
令和3年度採用の役場職員募集

令和3年度に採用する町職員(一般事務)を募集します。

▼募集職種 一般事務

▼人数 若干名

▼受験資格 平成2年4月2日以降に生まれた人で、高等学校卒業程度の学力を有する人

※ただし、令和3年度採用の職員採用試験(一般事務(大卒程度)・保育教諭)

受験者は除く。

▼第一次試験日 9月20日②

▼第二次試験日 10月下旬予定

▼第一次・第二次試験会場 町役場

▼受付期間 7月20日①～8月21日②(午前8時30分～午後5時15分)

※土・日曜日、祝日を除く。

▼申込・問合せ 役場総務課☎47-5001

町政 HOT NEWS

表彰

長年にわたり学校教育に尽力
長谷川安衛さんが瑞宝双光章を受章



元公立小学校長
長谷川安衛さん
(前原・4区)

長谷川安衛さん(前原・4区)が瑞宝双光章を受章しました。
長谷川さんは昭和32年に中野小学校教員として勤務して以来、高島小学校長を最後に退職するまでの約35年の間、学校教育の場で活躍されてきました。また、在職中に中野小学校、中野東小学校、邑楽中学校など計10校の校歌の作詞を手掛けるなど、文化的な面でも貢献されてきました。今回の受賞はその功績が評価されたものです。
長谷川さんは「たくさんの良い出会いに恵まれてきました。かつての教え子たちが各分野で活躍している姿をみると、とてもうれしく感じます。今後も詩の執筆を続けていきたいです」と話していました。

表彰

町議員として町民とのパイプ役に尽力
小島幸典さんが県総合表彰を受賞



町議会議員
小島幸典さん
(前瀬戸宿・8区)

小島幸典さん(前瀬戸宿・8区)が地方自治分野で県総合表彰を受賞しました。
小島さんは平成15年5月に町議会議員に初当選後、議長、副議長、厚生・環境常任委員会委員長、産業福祉常任委員会委員長など要職を歴任。現在も町議員として町の発展に尽力されています。今回の受賞はその功績が評価されたものです。
小島さんは「このような表彰をいただいたのは、先輩議員や議会の仲間たちに恵まれたおかげだと感じています。今後も邑楽町が楽しく暮らしやすい町になるように、町議員として、まちづくりに取り組んでいきたいです」と話していました。

表彰

長年にわたり検視警察医として警察業務に尽力
小林紀夫さんが県総合表彰を受賞



県警察検視警察医
小林紀夫さん
(西ノ根宮内中島・24区)

小林紀夫さん(西ノ根宮内中島・24区)が警察分野で県総合表彰を受賞しました。
小林さんは医学部卒業後、群馬大学医学部研究室助手や前橋刑務所医務課長を務めるなど、医療分野で経験を積まれ、平成3年に小林内科医院を開業しました。その後、平成16年から群馬県警察の検視警察医を務めています。今回の受賞はその功績が評価されたものです。
小林さんは「検視は昼夜を問わずこるで待たされた。また捜査の最初に行われる作業であり、無くてはならないものです。長年続けてこられたのは、妻の支えがあったからこそ。とても感謝しています」と話していました。

表彰

長年にわたり統計調査員として尽力
永井知子さんが県総合表彰を受賞



統計調査員
永井知子さん
(明野・34区)

永井知子さん(明野・34区)が統計分野で県総合表彰を受賞しました。
永井さんは昭和60年に国勢調査の調査員となり、昭和61年の毎月勤労統計を皮切りに多くの統計調査の調査員や指導員として統計業務に従事されてきました。今回の受賞はその功績が評価されたものです。
永井さんは「数々の統計調査に調査員として仕事を任せていただいたことに感謝しています。統計調査は一人ではできない仕事ですので、今まで協力していただいた全ての人にも感謝を伝えたいです。これからも体力の続く限り、統計調査の仕事が続けていきたいと思っております。ご協力をお願いします」と話していました。

表彰

長年にわたり花き栽培農家として尽力
新井信明さんが県総合表彰を受賞



花き栽培農家
新井信明さん
(寺中・26区)

新井信明さん(寺中・26区)が農業分野で県総合表彰を受賞しました。
新井さんは昭和54年から鑑賞用植物の生産を始め、その後約40年間、花き栽培農家として活動を続けてきました。
新井さんは「ずっと隣で支えてくれた妻と、共に働いてくれた従業員の方々に感謝を伝えたいです。大変な時期もありましたが、常に新しい品種や栽培方法などに取り組むことで乗り越えてきました。新しいことを始める時は失敗することもあります。その失敗を糧にして、今後さらに新しいことに挑戦していきたいです」と話していました。

協定

交通利便施設と農産物直売所の整備に向けて
JA邑楽館林と町が基本協定を締結



協定締結の調印を終えた、JA邑楽館林の江森富夫代表理事組合長(左)と金子正一町長

6月2日、町は邑楽館林農業協同組合(以下、JA邑楽館林)と「邑楽南地区生活拠点施設整備事業」の基本協定を締結しました。
締結式では、町とJA邑楽館林が協力し狸塚地内の約2haの用地に、町がバスロータリーや駐車場を整備し、JA邑楽館林が農産物直売所を整備することを確認しました。
金子正一町長は「計画地はアクセス性が良く、町の発展につながっていくと期待している」と話していました。

表彰

長年にわたりボランティア活動が続く
町ボランティアグループが県総合表彰を受賞



町ボランティアグループの役員の方々の皆さん、左から、寺田都代子さん、三ツ井晶子さん、会長の松島たい子さん、佐藤富代さん

町ボランティアグループが福祉分野で県総合表彰を受賞しました。
昭和53年の設立以降、41年以上にわたり、老人施設でのボランティア活動や一円玉募金活動を通じた物品の寄贈、ボランティア福祉バザーの開催など、多岐にわたりボランティア活動を展開されてきました。現在の会員数は442人を数えます。
会長の松島たい子さん(店高原・28区)は「今回の受賞は町民の皆さまのおかげです」と話していました。

協定

お互いの資源を有効活用し、地域の活性化を
3者で包括連携協定を締結



調印を終えて、左から館林信用金庫の早川茂理事長と金子正一町長、町商工会の中繁基会長

6月3日、町は町商工会と館林信用金庫の3者で「地域活性化に向けた包括連携に関する協定」を締結しました。
協定書には、3者が積み重ねてきた協力関係をより一層、強化・発展させるとともに包括的及び継続的な連携により、3者の資源を有効活用することで地域の活性化につなげる趣旨の内容などが盛り込まれました。
金子正一町長は「引き続き3者で協力し、地域の活性化を図り町の発展につなげていきたい」と話していました。